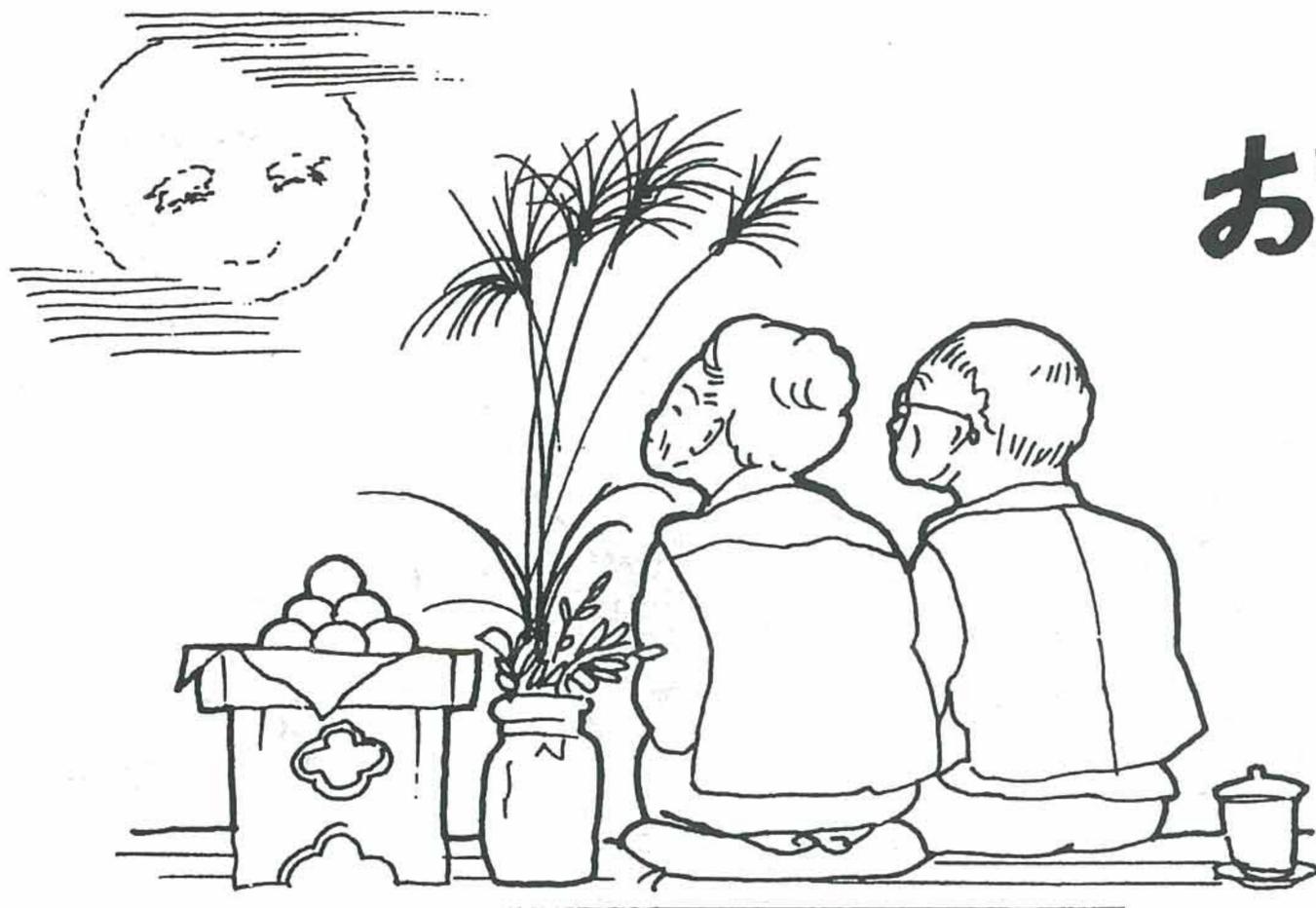


平成6年第2号

# ビタミンC

社会福祉法人 慈恵会  
特別養護老人ホーム  
あいふるの里  
愛知県一宮市浅井町  
西海戸字余陸寺45-1  
☎ <0586>78-8441



## お月見

### あいふるの里折々の記

もう、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、ここでもう一度あいふるの里の基本理念をご紹介しますと思います。

「お年寄りに快適を、ご家族に安心を」を理念に心安らかな生きがいのある一日一日が過ごせる環境づくりと、温かいケア・優しいケアを実践する。また、地域在宅福祉の拠点としてデイサービス事業、ショートステイ事業、給食サービス事業を推進することによって本施設が社会資源として広く活用されるよう努めると、このようにうたっております。この理念を心にしっかりと刻んであいふるの里の全職員は、お年寄りのお世話をさせていただいております。今後もより一層のケアの充実を図りたいと思っております。

#### 私たちのスローガン をご紹介します。

「まごころ」を大切に  
しています。  
(ケアワーカー)

笑顔の一日、引き受け  
ます。(ディサービス)

笑顔ってとってもおい  
しいですね。(厨房)

その甲斐あっての受賞となりました。ばちばちばち

夏まつりのフィナーレを飾るのは、「トーチトワリング・花火・火文字」です。「トーチトワリング」とは両手に棒を持ち、その先に火をつけてくるくると回す芸で、「火の舞」「火踊り」とも言います。あいふるの里の職員8名で構成され、今年で4回目となりました。おかげさまで、お年寄りの皆さん、ご近所の中でも楽しみにして下さる方が増え、私達も張り切っていました。残念ながら、火が弱く途中で消えたり、トーチ棒が壊れたりというハプニングがありました。

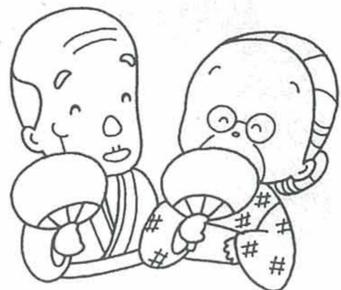
続く花火では、年々仕掛けに磨きがかかり、夜空に輝く光を見ながら、盛夏をしみじみと感じることができました。そして、最後に浮かび上がる火文字「まつり」には、この夏まつりの楽しさと皆様の長寿とお幸せになつて欲しいという思いをこめて点火し、施設長の閉会のあいさつと共に、賑やかな夏まつりも終わりを迎えました。

いろいろと不備な点や思わぬハプニングもありました。でも参加している皆さんの笑顔や拍手、励ましの言葉を得ることができ、私達スタッフも嬉しくて、ある種の満足感を得

# 夏まつり



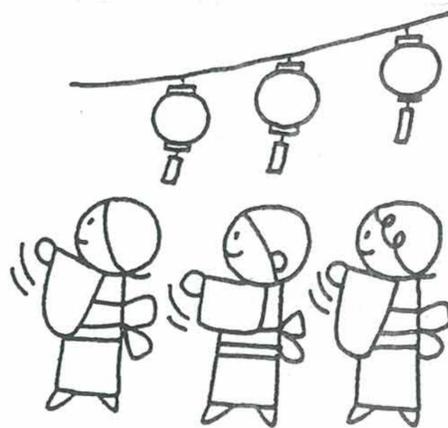
ることができました。これを機に、スタッフ一同来年、再来年・・・と、引き続き皆さんに親しまれる夏まつりにしていきたいと考えております。今後とも、ご支援ご協力の程、よろしくお願い致します。本当にありがとうございました。



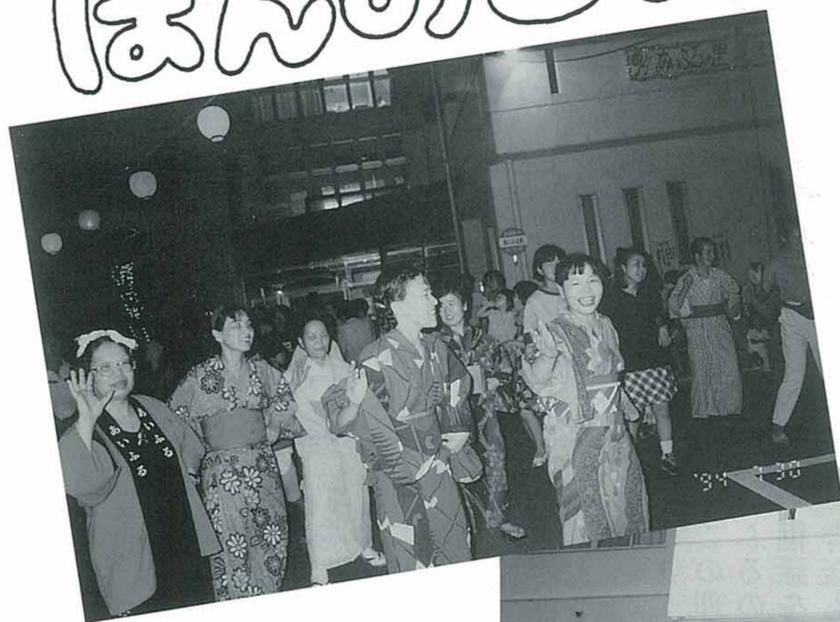
去る7月30日(土)に「'94 あいふるの里 夏まつり」が開催されました。いつもの駐車場も、この時ばかりは大変身。中央には櫓がそびえ立ち、いくつもの模擬店が建ち並び、踊る人あり、見る人あり、食べる人ありに加えて、仮装大会のために化ける人ありの盛大な夏まつりが繰り広げられました。

今年のメイン・イベントは「仮装大会」。あいふるの里の関係者だけでなく、外部の方も含め、様々な方が多勢参加して下さいました。

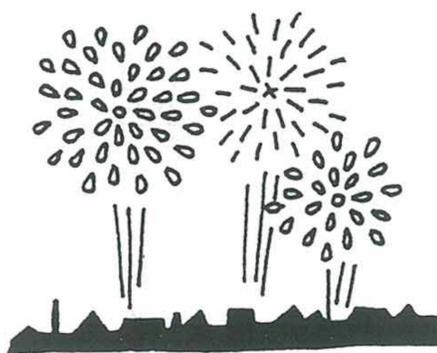
例えば、職員による「れれれのおじさん」や「変なおじさん軍団」はじめ、ケアワーカーとファミリールによる「水戸黄門」、学生さんによる「ウェディング(男女入れ替り)」、



# ぼんおどり



小さな子供さんの「カッパ」や「あんばんまん」などなど。少し渋めのものから可愛いものまで勢揃いとなりました。その中で、見事に大賞に選ばれたのは、あいふるの里の職員の長野主任と林ケアワーカーによる「僕も私も踊り隊」。一人3役、「二郎・二郎・三子」と「四子・五郎・六郎」の姿で踊ったり、カメラを構えたり、子供やお年寄りさん達と遊んだりで大忙しの2人でしたが、

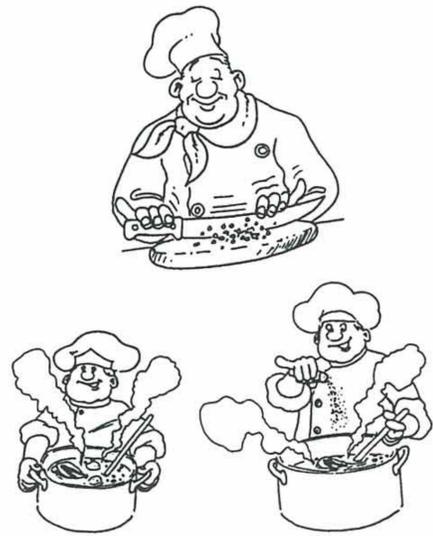




“へい!らっしやい” あいふるの若大将です。



カンパイ!笑顔がとってもステキ!



わしゃ 鯛の刺身がいいわい

8月6日(土)に第1回給食サービス懇親感謝パーティを催しました。出席者は45名。私達給食サービスのスタッフも初めての事で準備が大変でしたが、それでも溢れんばかりのお年寄りの笑顔にたくさん出会いました。秋津大正琴さんの生演奏を聴きながら和洋料理を沢山召し上がって頂きました。勿論のことビールもジュースもどんどん飲んで頂きました。2次会は当ホーム常設喫茶「駱駝舎」に会場を移し、カラオケなどで親睦会を楽しみました。普段、なかなか外出する機会の少ない利用者の方も数多くのお友達が出来たようです。おもえば7つの弁当箱を抱えて給食サービスを始めた頃にはこれほど短期間のうちにこんなにも多くの方が、給食サービスを利用してくださると思ってもありませんでした。本当にありがとうございます。パーティの最後には配食ボランティアさんへの感謝状授与式を行いました。「おかげさまで」の気持ちをいつま

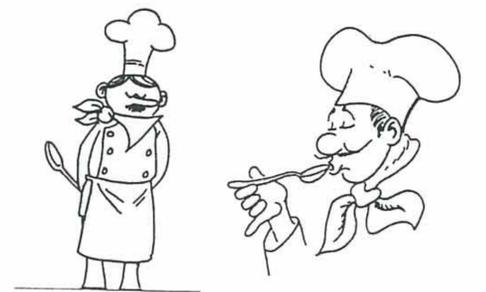
# おかげさまで

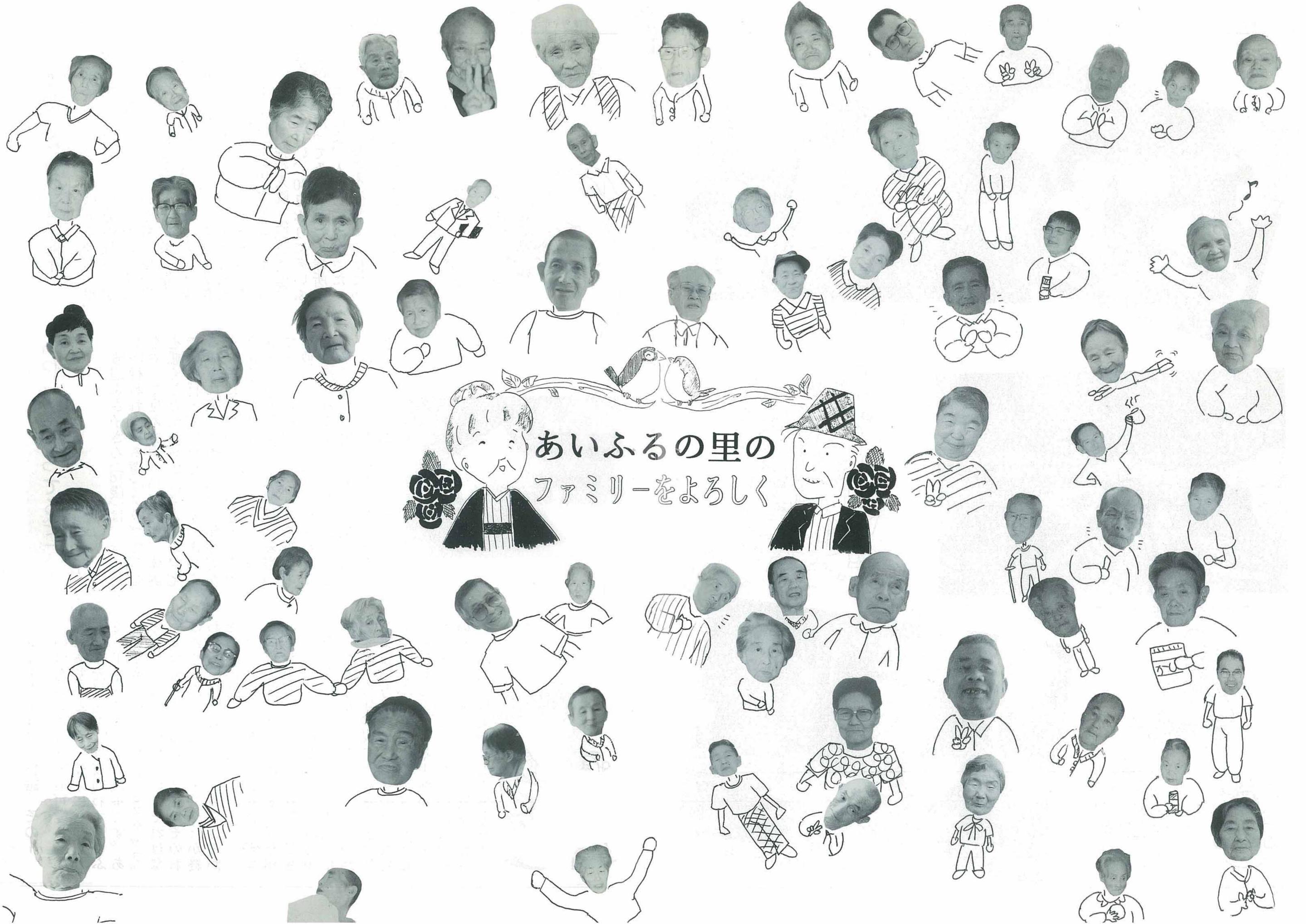


“いつも ありがとうございます。”

でもかわらなく皆が持ちつづけたいくそんな給食サービスでありたいと願わずにはいられませんでした。

合掌



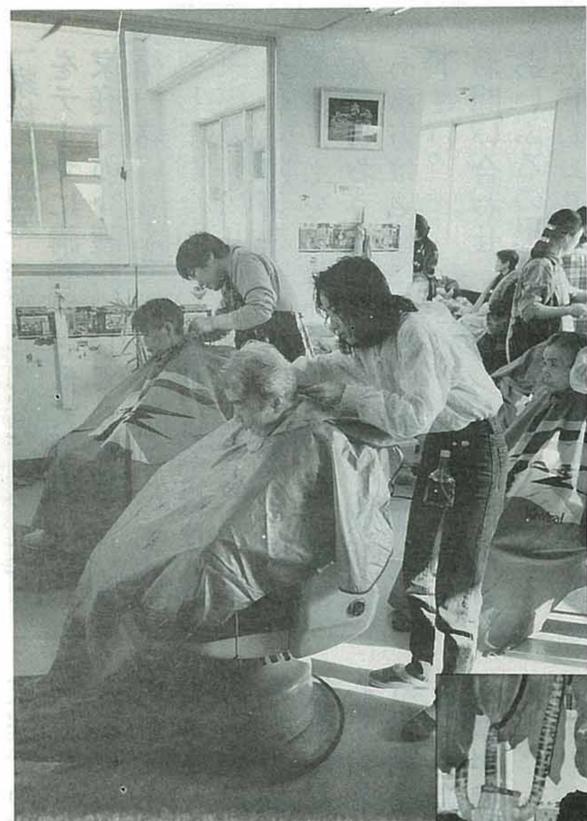


あいふるの里の  
ファミリーをよろしく



# ボランティアさん こんにちわ 第1回 たんぽぽの会様

第1回のボランティアさんには、美容ボランティアにお越しただいておめでとうございます。たんぽぽの会様をご紹介します。たんぽぽの会様は、ビューティークリニックサロン・パール美容の前田芳子様を代表に、宮市内の美容師の皆様で構成されましたボランティアグループです。平成2年の開所当初より、あいふるの里のファミリーの為に毎月1回美容ボランティアにお越しただいて、当あいふるの里のファミリーに大変喜ばれております。なかなか外に出ることが出来ない当あいふるの里のファミリーにとっては大変ありがたいボランティアです。ファミリーの方々もたんぽぽの会様のおみえになるのを毎月心待ちにしてみえます。これからますますしくお願いいたします。



- たんぽぽの会様
- ビューティークリニックサロン
  - パール美容
  - パーマ屋花子
  - アン美容室
  - 美容室エム
  - ビューティサロンミナミ
  - 南
  - 森部
  - 間宮
  - 畑中やす子様
  - 前田 芳子様
  - 前田 博子様
  - 西村 マリ子様
  - 松本 照美様
  - 弘子様
  - 美鈴様
  - 成子様



うん~ とってもきれい!!

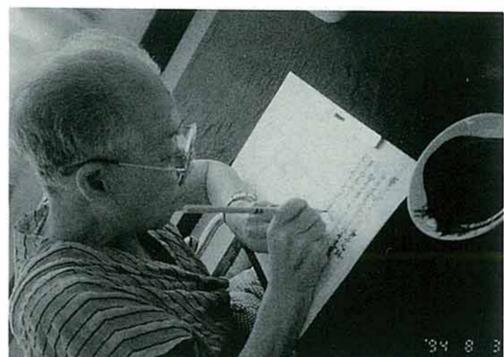
## よかったねえ コーナー

現在、95歳のSおばあちゃん。平成5年11月頃より、気分不良の日が続き、血圧が高く微熱が続くようになりました。そのうち、尿の出が悪くなり病院受診した結果、先生より入院を言い渡されました。入院は嫌だと渋るSさん。このまま入院するともうあいふるには帰って来れないんじゃないか。きつとそんな不安がSさんの頭の中を巡ったのでしよう。それでも強行入院。病院で点滴、食事療法を行い、20日ぶりにあいふるの里に戻って見えました。帰所第一声は「はよ、入院してよかった。治療は早いうちがええわ。元気になった。アッハハハ。」



## 「わしは頑張ってるぞ」 コーナー

渡辺ふさ子さん(78歳)は、今、月2回行われている習字クラブで写経をやってみえます。15年程前、体調を悪くした時から始め名古屋の自宅を毎日行っていたそうなんです。あいふるの里に来ては2年。半年程前から「また、やってみたいなあ」と思うようになりました。ボランティアさんをお願いして、写経の道具を買ってきてもらい、毎回、堂々の筆での挑戦。「手が震っちゃうからねえ」と謙遜されますが、なかなかどうして素晴らしい出来です。「毎日出来れば・・・」と意欲満々。どうですか？皆さんもご一緒にいかがですか？



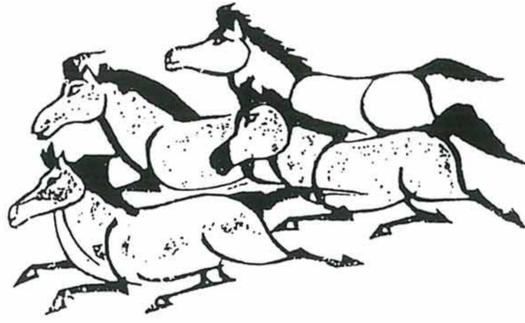
## ショート・ステイ物語 その1

いつもニコニコとても可愛らしいおばあちゃんです。85才にもなられたのに元気元気。昼夜問わずあいふるの里館内をスタスタ散歩です。あわてて後ろから走りまわるスタッフ。今の若者は根性がな〜い。それはないよねおばあちゃん。今日はそのおばあちゃんのショート・ステイが終わりお宅に帰られます。お嫁さんがお迎えに見えました。

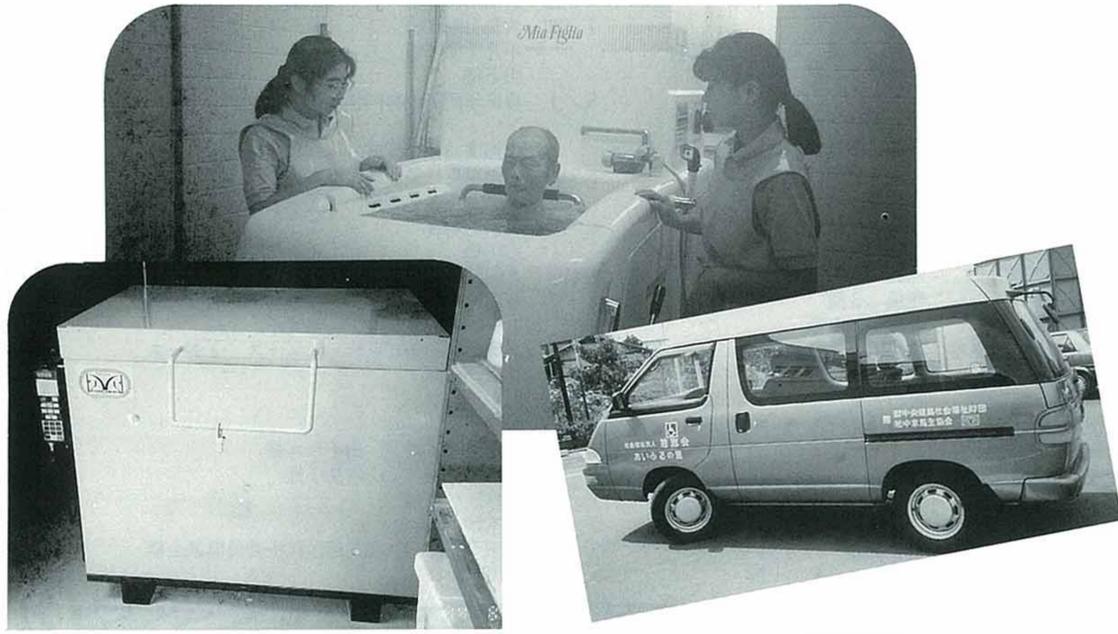
おばあちゃんは、相も変わらずニコニコ歩き回ってみえます。帰りがけにお嫁さんが一言「有り難うございました。お蔭様でゆっくり眠る事が出来ました。夜、安心して眠った事がないもんで・・・」よかったですね。今年の夏は特別な暑さです。ご家族の方がばててしまったら大変です。こんなに喜んで下さると私たち職員もお世話する甲斐がありました。どうぞこれからもあいふるの里のショート・ステイをご利用ください。職員一同お待ちしております。



このステッカーはなんだかご存じですか？ これは中央競馬馬主社会福祉財団様から助成金を頂いて、お年寄りの皆さんのために購入した品物に貼るステッカーです。毎日食べて頂いているお粥、これはお粥ロボットというなかなかの優れ物の器具でおいしく炊き上げています。又病院などに行かれる時などに使います。フリ付の車、これもそうです。1階にカルチャールームがあるのはご存じですね。この部屋も作って頂きました。ここで言う陶芸教室で使用する電気の釜（写真）もそうです。最近では車椅子ごと入浴できるチェアバスもこの助成金で購入しました。あらゆる場所でお馬マークのステッカーを目にします。ファミ



あいふるの里の館内を回りますと、あらゆる場所でお馬マークのステッカーに出会います。



リーそして職員の皆さん、どうかその折には、感謝の気持ちを忘れないでください。末永く大切にに使わせて頂きます。

こんな事言うのは申し訳ないんだけど。と、遠慮気味に話出したあるファミリー。でも、これは、ファミリーの切実な願いだと思ふのです。「欲しい物を買って来て貰って申し訳ないけど、自分で選びたいと思う。でも歩いて行くのは、少し恐ろしい気がするし・・・」  
自分が着る物や使うものを、自分の目で選びたい気持ちよく判ります。買いたい物を頼まれたワーカーさん、本人の希望に叶うものを用意してあげられる様によく話を聞いてあげて下さい。又気分転換も兼ねて、近くへショッピングもいいかと思います。

私にもちよこっと  
いわせてよ

コーナー



あいちゃんが行く  
あんちゃん作



あいふるの里 ディサービス

家庭介護者教室に参加してみませんか  
あいふるの里のデイ・サービスセンターでは毎月、家庭介護者教室を行っております。家庭での介護で困っていると思われる事をテーマに6ヵ月間のサイクルで教室を開いています。今年のテーマは



「家族に痴呆（ボケ）が起こった時」をテーマに講義をさせて頂きます。家庭での介護が少しでも軽減される様一緒に考えていきたいと思ひます。そして、今回は、勉強だけではなく、家族の方にリラククスしてもらいたいにも陶芸教室も行います。一緒に土をさわって、形を造り楽しんで貰おうと思ひています。興味のある方は気軽にぜひ一緒に参加して下さい。  
お問い合わせ  
あいふるの里デイ・サービスセンター  
TEL (0586) 7816135  
※前回の介護者教室に参加されたご家族の感想です。  
暑い中毎日日本当に御苦勞様です。感謝しております。皆さんそれぞれの

家庭での苦勞話やくらしぶり等、家族でなければわからない心勞等、大変心に残りました。わかっているつもりでも、日々目先の仕事に追われてやさしい言葉が少なくなっているのを職員の皆さんのやさしい態度をみて、我が身を反省したりする良い機会になりました。そして皆さんが、心から老人達が良い方向にむかうよう世話をしていただいてるのが、とてもよくわかり、安心して帰宅する事ができました。



